



南飛驒 ぼうさいかわら版

目次

- P-2 ・ 馬瀬乳幼児学級のママさんが防災学習会 ・ 下呂市と災害相互協定を締結している市町村
- P-3 ・ 南支部がひまわり祭りに出展 ・ 中支部が消防団と合同研修会
- P-4 ・ おらんとこの自主防災（金山町谷合区の、楽しみながら学ぶ防災）

金山町沓部地区で、普通救命講習会 「最高齢受講者は88才」 6月25日

南支部は沓部地区の防災士(5名)が、地区内全域に呼びかけて普通救命講習会を開催しました。

3年前に実施した受講者が再講習の時期になったことに合わせて計画し、会場の沓部集会場の大広間には受講者58名が5グループに分かれて部屋じゅういっぱいになって受講しました。

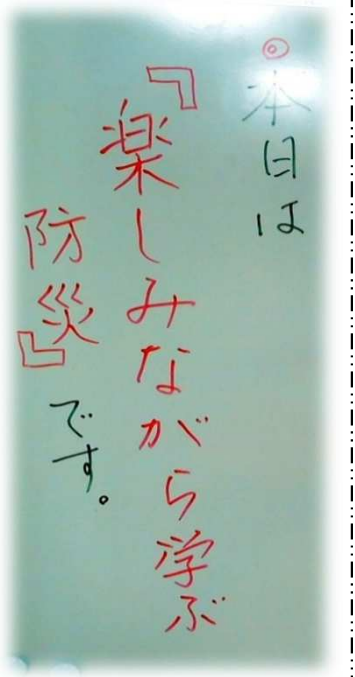
南消防署員4名が講師を務め、応急手当普及員の防災士3名が補助員として受講者に胸骨圧迫の要領などをアドバイスしていました。受講者は互いに顔見知り同士でなごやかな雰囲気が進み、心肺蘇生操作のあとクイズ方式で応急手当などの方法を学びました。ときおり笑い声が起こるなかで3時間に及ぶ講習会を終え、参加者全員で互いに3年後の受講を確認しました。



心肺蘇生の実技



クイズ方式で傷病の応急手当や、火災の原因で1番多いのは何でしょう？
家庭で倒れる原因や場所で多いのは？・・・などと楽しく学びます。



馬瀬乳幼児学級のママさんが、防災学習会 6月27日(火)

馬瀬のわかあゆ保育園で、乳幼児学級のお母さんたち7組がそれぞれ子どもを抱きかかえて参加しました。「今！大地震が起きたら・・・」というテーマで、どうして起きるのか？ どのくらいの被害が予想されるのか、そのためにはどうしたらいいのか？・・・などを萩原児童館長の内木孝之防災士を講師に学びました。また、『子連れ防災』について資料を参考に話し合い、わが子を守り自分を守る防災術、避難する時の必需品や、こどもへのメンタルケアについても学習しました。

2日前に下呂市で震度4を観測した長野県南部地方の地震があったばかりで、災害を身近に感じた学習会となりました。参加したママさんは「地震について知ることができ、日頃の備えの大切さがわかって参加してよかった」などと口々に話していました。



下呂市と、災害時相互応援協定を締結している自治体の紹介

「災害時相互応援協定」とは、大規模な災害で被災市町村のみでは十分な応急対策・復旧対策を実施することが出来ない場合に相互に協力し応援し合う協定で、(物資・資機材・医療などの提供、職員の派遣、児童生徒の受け入れ)などを行うもの。

市町村名	締結日	人口	世帯数	面積	本市との距離(*)
下呂市		33,436人	12,261	851.21km ²	
石川県羽咋郡宝達志水町	平成元年10月5日	13,515人	4,945	111.52km ²	約193km
愛知県丹羽郡扶桑町	平成9年10月1日	34,663人	13,591	11.19km ²	約87km
愛知県知立市	平成25年11月20日	71,558人	31,568	16.30km ²	約145km
富山県中新川郡上市町	平成27年1月15日	21,096人	7,943	236.71km ²	約185km
岐阜県中津川市	平成27年10月6日	79,743人	30,369	676.45km ²	約52km
長野県木曽郡南木曽町	同上	4,273人	1,777	215.93km ²	約56km
同上 大桑村	同上	3,868人	1,598	234.47km ²	約68km
同上 上松町	同上	4,698人	2,161	164.42km ²	約83km
同上 木曽町	同上	11,502人	4,998	774.80km ²	約90km
同上 王滝村	同上	786人	393	310.82km ²	約106km
同上 木祖村	同上	2,963人	1,127	140.50km ²	約105km

(*)本市との距離は、下呂本庁舎と当該市町村庁舎間をカーナビで検索した距離数です。

南支部が、ひまわり祭りに出展 7月22日(土)

南支部が「ひだ金山まちづくり協議会」主催のひまわり祭りに出展しました。実物の便器を展示して断水時にポリ袋を使った使用方法の紹介と、ダンボール利用の便器を展示しました。特にご婦人層の多くが関心を示され「災害時に最初に困ることは排泄です」「自宅避難用に是非ポリ袋の備蓄を！」などと説明すると、みなさんが一様に大きくなすいてみえました。



ミナモも水なし便器体験！



会員自作のペール缶利用の「ロケットキッチンストーブ」も、多くの人々が関心を寄せていました。



南消防署の協力で多くの方々が地震体験！、何度も体験する小学生たちもいました。

防災士会中支部と、消防団下呂方面隊で合同研修会 8月8日(火) 19時～

防災士や消防団員の意識向上と、発災対応に関する知識を深め9月3日の防災訓練で参加して市民に指導できる事を目的とした研修会を行いました。中支部の会議(6/25)で下呂方面隊長が防災士として出席していたことから合同研修の話がまとまりました。

会場の下呂市民会館には、中支部の防災士16名と消防団員59名が研修会に参加しました。

講師は福澤副支部長と危機管理課の林氏が勤め、毛布やTシャツと竹竿を使った簡易担架を作って傷病者を搬送する方法や、雑誌とタオルを用いた骨折の副木とする応急手当、レジ袋で腕を吊る三角巾代わりや圧迫止血時の感染防止など、身近にある物で出来る災害時の応急処置を研修しました。



おらんとこの自主防災（金山町 谷合区自主防災会）

谷合区自主防災会は『楽しみながら学ぶ防災』を、合言葉にて活動しています。

【防災活動の事例抜粋（H26～H28）】

H26.各戸に防災ファイルを設置（配付される防災資料の保管）



H26年 H29年

H26年
地区内2本の
谷に危険水位
表示と連絡
体制の確立



H27年（4回）
三角巾手当講習

H27年 ロープワーク講習
同日夜間に避難訓練



H28年 力を合わせて作ったロケットストーブ 13台



H28年 皆で炊き出し

H28 被災者救出訓練



H28年 土のう訓練

（編集後記） 北九州豪雨災害の大分県日田市に行ってきました。ボランティアに参加して災害復旧のお手伝いを・・・の思いと、防災士として災害現場に身を置いてみたいとの思いでした。

美濃加茂からバスで13時間後。車窓から見る水害現場はおびただしい流木と、すざましい土砂の量、一面河原の中に流れ残った民家が点在している。活動現場は裏山が崩れ、納屋を押しつぶしそうな土砂の撤去でした。猛烈な暑さと流れる汗とのなか、被災された御主人と息子さん一緒に泥出し作業は良い経験でした。



E-mail tuneki-jh2oqm@seiryu.ne.jp ☎090-2578-1601 ライン・FB可 広報担当 金子恒紀